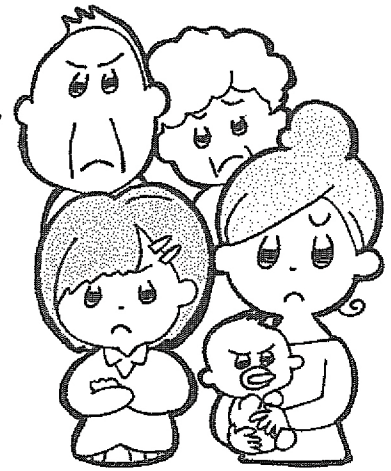


大阪府・大阪市は 都構想やカジノより コロナ対策を!!



新型コロナウイルスの感染拡大は、日本全国に広がっており、大阪では東京に次いで深刻な事態になっています。こうしたなかで、倒産や解雇が相次いでおり、今、大阪府や大阪市がすべきことは、住民のいのちと暮らしを守ることを最優先にすべきではないでしょうか。

しかし、大阪府・大阪市はこのような状況の下で、都構想の出前協議会を5月10日と12日に開催し、参加募集を行っています。このような緊急事態の中、大阪市廃止・分割の議論をしている場合ではなく、5年後に大阪市の廃止・解体をめざす「大阪都構想」の準備など「不要不急」のものであり、出前協議会の開催などまったく必要ありません。

大阪府・大阪市は、新型コロナウイルス対策を最優先にし、総力を挙げてこの危機に対応すべきではないでしょうか。

生活と健康を守る会は、大阪府・大阪市や各自治体に対して、「新型コロナウイルス感染拡大のもとでの住民のいのちと暮らしを守る要望書」を提出しました。

★感染防止のための検査・医療体制の強化

★解雇や休業で収入減になった人への個人補償

★国民健康保険料や公営住宅家賃など減免制度の拡充 など

仕事が激減、収入が減った、解雇された人など暮らしに困ったときにはご相談ください
